常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1…
編集部専用 1,269

駅ヨリ三分
産科 婦人科
斎藤医院
平市南町 電九〇二
入室完備

公金120万円横領

県消防協会平支部 幹事鈴木勇作氏

大半を遊興費につぎ込む

県消防協会平支部（支部長大河原茂平氏）の一幹部が協会費百二十万円を横領消費していることがこのほど判り、平署でも事情を聴取したが、本人も反省して返済することを約束、また幹部もこれを認め告訴しないというので送検しないことにしたという。しかし反幹部派はこの処置に納得しないものも多いといわれ騒ぎが大きくなつており、事件の行方が注目される。

平署で内情聴取

返済約束で未送検

横領したのは平支部幹事鈴木勇作氏＝平市南町＝で、去る二十一日平市消防署で行つた消防団長会議の席で塩、飯野団長ら数名の幹部らが消防協会支部幹事鈴木氏が協会員から集めた会費百二十万円を横領していると聞くがどうなつているのかととりあげ事件が明るみに出たもの、平署の聴取と消防協会で論議されたところを総合すると鈴木氏は一昨年の春ごろから同支部の二十一消防分団＝団員約四千名から徴収した金約八百万円のうち県本部に送つた残りの事務費など約百二十万円を横領したという。横領した金は平市南町某料亭に囲つてる妾の費用など遊興費にあてていた。また、この横領には幹部数名と市会議員も加わつているとの噂もある。さらにこの問題が大やけになるにしたがい正義派の消防団員が幹部の処置に不満をもつており組織が二つになるのではないかと心配されている。なお鈴木氏の処置は有力者が仲に入り金を返済することで警察からの送検をまぬがれている。

宮沢平署長談＝話は聞いているが現在騒ぐ段階にはいたつていないので調べてない。返済するようだが具体的な内容は消防協会の方でわかつていると思う。

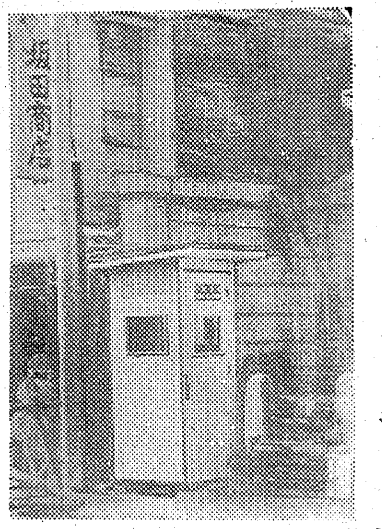
大河原平支部長談＝問題は解決したので騒ぐ必要はない。私が責任をとります。新聞には書くな。

ネオン付公衆電話

常銀前

平電話局は街に出た人の便ぎをはかるため平市三丁目常陽銀行平支店前に公衆電話をつくつていたが一日から通話出来るはこびとなつた。

これはいままで三幸デパート前にあつたのを取り壊し総工費三十万円で新設したもの。またこのボツクスには「公衆電話」というネオンサインを取りつけるという役所らしからぬサービス振りである。なおこの設置にともない平市内の公衆電話はこれで六カ所となつた



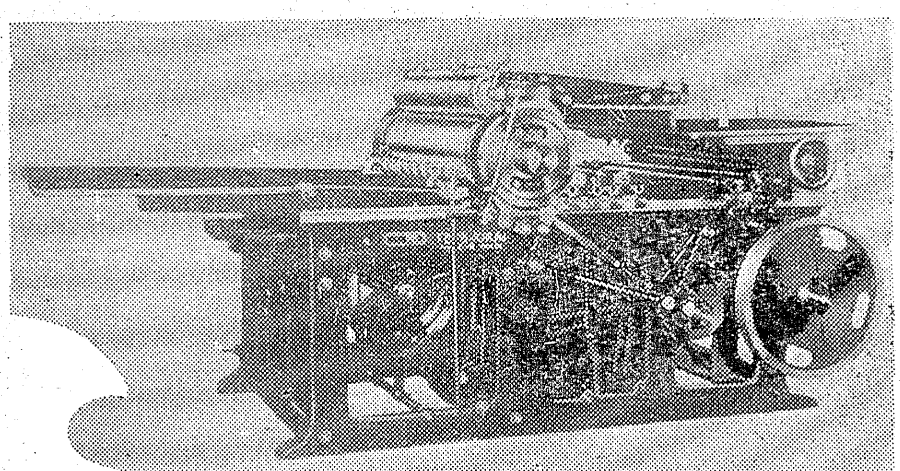
（写真は新設した公衆電話）

社告

本社は読者へのサービスをモットーに紙面の刷新と向上につとめていますが、一層内容の充実した紙面にするため新に四六半載の新鋭印刷機をすえ付け、三十一日から印刷を始めました。また印刷機と共に活字、製版などの工場施設も強化されましたので一段と精彩を加えることを約束されております。

本社では読よい、見よい紙面にするため四月一日から今までのタブロイド版四ページからブランケット版二ページにすることになりました。

（写真下は新設した印刷機）



県警の人事異動

常磐署次席に小林〔保原〕

県警本部は三十日、捜査二課新設にともなう警視正、警視級十一名をはじめとする百五十五名の第二次幹部異動を四月一日付で発令した。異動は捜査二課長と空席の教養課長、警部を軸として売春、汚職取締体制と中堅幹部の大幅な交流を主眼としたもので必要最小限度の異動である石城関係は次の通り。

「警部の部」

常磐署次席　久家三郎
警務部警務課々長補佐（人事給与担当）へ
保原署次席　小林保
常磐署次席へ
平署々長補佐　加藤庄衛
石川署次席へ
平署々長補佐　三瓶正之介
警備部警備課々長補佐へ
会津若松署々長補佐　伊藤資寿
平署々長補佐（警備担当）へ
常磐署々長補佐　小野正二
警備部警備課々長補佐へ
警備部警備課　三瓶良助
常磐署々長補佐（警備担当）へ
警備部警備課　渡辺正
磐城署々長補佐（警備担当）へ
相馬署々長補佐　鈴木健治
平署々長補佐（刑事担当）へ
磐城署々長補佐兼防犯係長　斉藤初郎
防犯係長兼務を免ずる
磐城署々長補佐　鈴木実
辞職を承認する（東北管区警察学校教官）

「警部補の部」

新所属	旧所属	氏名
鑑識課	内郷	金子勇司
警備課	勿来	熊田良一
機動隊	平	五十嵐博
桑折署交係長	平	荒林之助
平交通係長	警長交通課	菊地巧
平警務係長	相馬	岩下正
勿来警備係長	警備課	鈴木芳男
磐城防犯係長	防犯課	西山政三
常磐捜査係長	鑑識課	佐藤己正
常磐防犯係長	相馬	菅野庄太郎
内郷刑事課長	捜査課	小林和明

新庁舎を建設

工費千万円平社保出張所

平社会保険出張所（佐藤治夫氏）は平市堂ノ前の間借り庁舎の立退きを要求されていたが、近く市内童子町に工費一千万円で新庁舎を建設することになつた。新庁舎は総工費一千万円で鉄筋コンクリート二階建百二十坪、階下は窓口とその一切の事務、二階は所長、庶務、会議室などにあてられる。着工は今秋、完成は来春四月の予定という。

大新栄講の成田山旅行

平市大新栄講（講元井上貞次郎氏）の成田山旅行は四月六日午前五時十九分の平発で出発する締切は同二日、会費一人千五百円

職安にカーテン贈る

昨年七月平職安の斡旋で愛知県蒲郡市片原町壁安織布会社に就職した常磐市八仙大野静子、同鈴木枝子、東白川遠藤ミツ子さんの三人はこのほど就職のお礼として平職安に手織のカーテン地二十ヤールを贈つた。

運動施設完成

湯本一小

常磐市湯本一小（校長大和田祐之氏）はPTAの寄付で校庭に運動遊戯施設を作つていたが、このほど立派に完成した。施設は鉄製ジヤングル、バスケツトスタンド、平板シーソ、オーソンウエーブが各一、はん登棒、懸垂シーソ、ブランコ各二で工費五十三万六千円はPTAの寄付、また引続き滑り台、土俵、砂場などを作る予定。

低い公勢で生ビールを開始
食堂では明一日から生ビールを始めますが不景気の折柄ですので中ジョツキ一パイ百円に値下げ。なお閉店は三十分延長して午后八時（食堂だけ）です
○生ビール（中ジョツキ）百円
○大瓶ビール　一三〇円
○寿司　一皿　五〇円
火曜特売　豚中肉百匁一三〇円
越藤
小名浜 平市

きそばと寿司宴会場の 酒悦
電171

石炭コークス
火力の強い 火持の長い カスの少い
徳用石炭
※電話三七番。二三七番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町
常磐炭礦販売会社

内科 外科
金成医院
平市鍛冶町 電八二六

皮膚科 性病科
矢吹医院
平市古鍛冶町 電（平）一一九三

第7回 入学生募集
◆試験日 四月二日
◆願書締切 三月末日
社団法人 平医師会附属
歴史と伝統を誇る
厚生省指定・福島県公認（募集人員二〇〇名）
平高等 理容 美容 学院
平市田町二四 T 2205
福島県公認（募集人員六〇名）
平准看護婦学校
平市南町 T 307
☆入学案内用紙は当校にあります

大工場に完全就職

好評の石城職業補導所修了生

石城公共職業補導所＝内郷市小島町＝では二十七日第六回修了式を行つたが、自動車整備科修了生三十三人は全員就職した。自動車整備の技術を身につけようと開所してから六年目になるがここだけは就職難などどこふく風といつたところで、毎年全員就職しており特に今年の求人者はニツサン、トヨタなど、一流どころからわんさと押かけ求人に応じきれなかつたほどだと橋本所長も喜んでいる。

昨年から新しく設けられた無線科＝修了生二十九人＝も半数が決定しており、四月中旬には全員決まるものとみられる。無線科は県内六カ所ある補導所でもここだけにあるもの。漁業関係が多いためで四月の国家試験後は就職が決まるものとみられる

多い好間村 平保

伝染病の発生状況

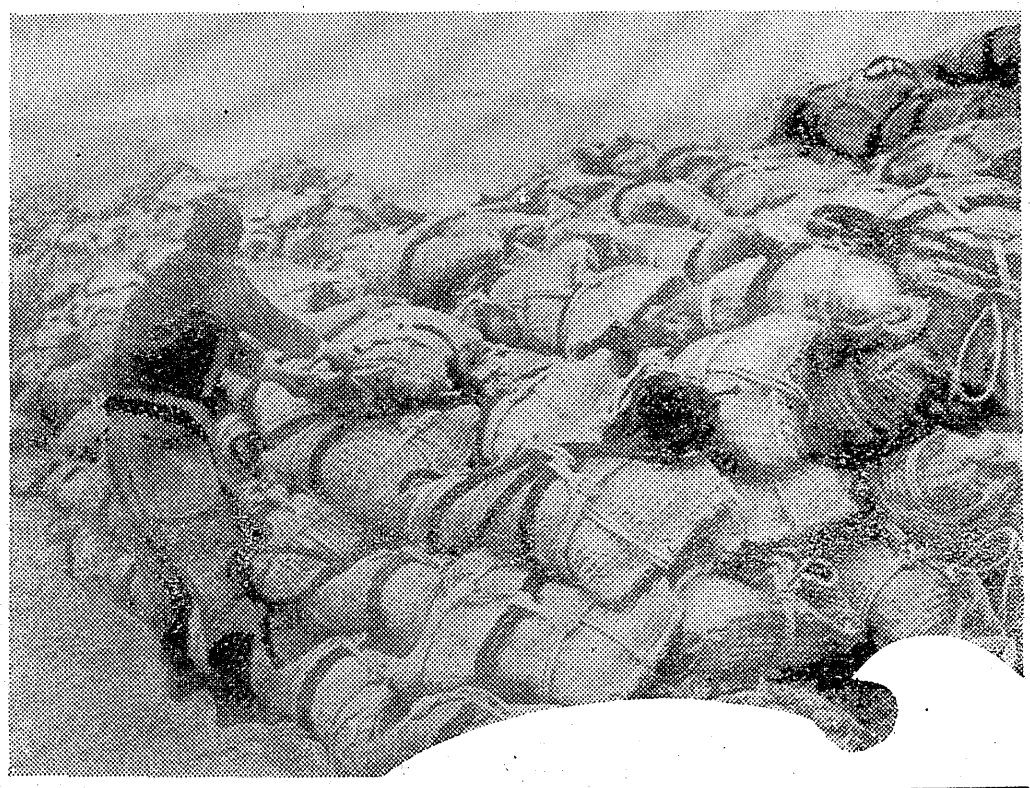
平保健所では昨年一月から本年三月末日までの管内における伝染病発生状況を調査していたが、このほどまとまつた。それによると総発生数は二百六十二人、保菌者百七十人で患者では三十二年より約百人減り、一方保菌者では約五十人増えている。なかでも最も多いのは赤痢で真性百二十一人、疑似三十四人（うち二人死亡）次いでジフテリアが五十七人（八人死亡）疫痢二十五人で死亡は最も多く十四人、しよう紅熱十四人、流脳七人（一人死亡）腸チフス、日脳が各二人（一人死亡）という発生数を示している。

発生が昨年より増加しているのは整肢療護園などの集団発生があつたためとみられている。また市町村別にみると最も多いのは好間村で患者八十二人、保菌者十九人、次いで平市で患者が七十九人、保菌者二十六人、内郷市患者四十六人、保菌者二十六人、常磐市患者二十人、保菌者二十八人、最も少ないのは川前の四人である。

好間村に多い原因は潜在菌を保持しているものがいるためである。なをこの統計からみて保健所では今年は多発生のといわれているので、飲食物や食べ物には充分注意するよう注意を与えている。

好間連青総会

好間村青年会総会は三十日午後一時から好間第二小学校で開かれ役員改選の結果、新役員が次の通り決つた◇会長園部正男◇副会長吉野敬一◇同鈴木進



退屈日記

鉄道記念碑

日本一フルつている教科書

三月二十九日附常毎に心なき者に悩まされる史蹟に指導標の記載がつていた。

平市文化財保護委員会の事業である。

やつて戴くことに敬意を表するが、記事の扱いが悪いのか知らんが〃心なき者〃とあつたのが気にかかつた。

戦後十三年、文化国家日本の平市の文化財に、いままで指導標も説明版もなかつたとしたら、保護委員会が、どうも心ある集りとは申せないような気がしたいや決して遅すぎると申し上げるのでは御座いません。

書近、安藤信公の銅像復元、鈴木辰三郎前市長の銅像建立、白井遠東翁の銅像計画、これに先だつて明情の歌聖〃愚あんの碑〃の建立など、このところ平市は復古調の派に乗つて銅像ブーム時代を出現した形となつた。

人の悪いは石城の平のいわれ、どうも平は評判が悪い。私はこれが不快であり残念に思つている。

平の人は古い文化を尊ぶことやあくまで建設基金は寺院の瓦一枚献納とか赤い羽根募金のように国体が街頭に立ち〃郷土の偉人信正公銅像再建に御協力下さい〃などと道行く人に呼びかける風景があつたとしたら平市を訪れる外客の目には必ずや微笑ましく映ずることであろうと信じてやまない。

この秋、釜屋の会計さんこと諸先人の徳を偲ぶことが少なかつたことなどが、この悪評の大きな原因となつたのではないかと思う。

私は、物言わざる生きた修身教科書として郷土の英雄の銅像で全市の高台や四つ角を埋めることに大賛成。ただし〃税金と寄附の街〃であつてはならない。

橋元三郎さんと猪狩四郎さんの二人が一銭の寄附を貰わずに、花咲く四月、お城山の愚あんの碑にならんで有難い常磐線開通の教科書である鉄道記念碑を再建することになつた。

会計さんは生涯を貫いている郷土文化資料の保存のため、猪狩四郎さんは鉄道運輸事業をやつている熱情から、陽のあたらない片隅に置き忘れられていた記念碑の再建を決意したという。

碑文は野口雨情の父である野口勝一氏が綴つたもので、会計さんを（文章の芸術である）と長嘆息させた逸物、基礎石は猪狩経済学者とアダ名される四郎さんが集蒐した。明治四十一年に磐城セメントが創学当時にセメント原料の石灰石を粉砕するために使つたという骨蒸品的由緒を持つ石臼―在るものは育てるべし、廃物をあくまでも活用しようとする両氏の意見が一致し再建となつたもので記念碑は日本一フルつたものが出来あがることだろう。

なお同碑は昭和四年新平駅竣工のとき、いわゆる〃心ある人〃がいなかつた当局が、処分に困り投げ捨てたものを、会計さんが米一俵十五円のころ七十円で買いとつておいた代物だそうだ（S）

岩壁に土のうの山

定置網のおもりに利用

小名浜港の漁船だまり岩壁は土のうが山と積まれている。これは四月中旬ころから漁に入る同港沖の定置網のオモリにする土のうつくりで、砂利が二十二貫入つた土のうが一万七千個つくることになり岩壁は土のうの山で一杯である。（写真は山と積れた土のう）

二食付 450円 御帯在勉強
いこいの宿 住吉荘 平市鎌田町 電一一二八

常磐の植林計画

常磐市では今年度の造林計画を六十町歩に決め、苗木二十二万本を植林することになつた。マツ二十町歩はすでに植つけを終り、スギ二十二町歩、クヌギ、ヒノキの三町歩は四月下旬に植付することになつた。

日農石城支部結成大会

日農全国連合石城協議会の結成大会は三十日午前十一時から平市堂根町農業会館で行なう。なお同日朝九時からは石城農民協議会の解散大会を行なう。これは日農全国連合結成によつて解散するもの。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
七、三〇 三つの歌
八、〇〇 お父さんはお人好し
八、三〇 私は誰れでしよう
九、〇五 ニュース解説
九、一五 連続劇「八幡船」
九、三〇 民謡をたずねて
一〇、四〇 風流うた草紙

◆ラジオ福島
七、一五 人情夜話
七、三〇 夜の歌謡列車
八、〇〇 花形浪曲集
八、三〇 ゴールデンミュージツク
九、〇〇 宮田演芸会
九、三〇 コロンビアアワー
一〇、〇五 連続浪曲
一〇、二五 ガイドタイム

◆NHKテレビ
七、三〇 私の秘密
八、〇〇 歌の広場
八、三〇 連続ドラマ
九、〇〇 バラエテイおいらの町
九、三〇 ドラマここに人あり
一〇、一五 ニュースの焦点

今晩の映画

▼世界館　一日迄　電五八
六、五九 蛍の光
八、二五 母
▼東映劇場　一日迄　電六五
七、一〇 台風息子
八、三五 丹下左膳
▼民劇　一日迄　電一三三
七、一〇 狙われた娘
八、二五 二人だけの橋
▼ひかり座　三十一日迄　電一三三八
六、三〇 ロマンス・ライン
八、三〇 東京特ダネ部隊
▼聚楽館　三十一日迄　電四七〇
六、〇〇 群衆の中の一つの顔
八、三〇 南部の反逆者
▼平館　一日迄　電四六六
七、〇〇 佳人
九、〇〇 錆びたナイフ
▼平文化ニュース　三十一日迄
ニュース　マンガ
オモニと少年
◆内郷
▼綴映劇　一日迄
六、三〇 スーパージャイアンツ
七、三〇 ウボと拳銃
九、〇〇 錆びたナイフ
▼第二いわき　一日迄
六、三〇 稲妻小夫狗
七、三〇 青春航路
九、〇〇 桃太郎待
◆小名浜
▽金星座　二十九日迄
女王蜂　関八州喧嘩旅
スーパージャイアンツ
▽国際　一日迄
遥かなる男
新しい背広
屋根
▽小名浜東映　三十一日迄
直八子供旅
少年探偵団
雨の花笠
▽磐城座　一日迄
錆びたナイフ
美しき不良少女
▽銀星座　三十一日迄
夜の道　最前戦

火狼のチツバア 撃襲大車列
時同上映
シネマスコープ総天然色　ジエイムス・ステユアート主演
文部省特選
翼よ！あれが巴里の灯だ
1日ヨリ 聚楽館

まのとんかつ 大寶
出前迅速
平市銀座通り電九六八
カツライスの部
松ライス 一三〇円
竹ライス 一八〇円
梅ライス 二三〇円
かつ丼の部
鶴かつ丼 一五〇円
亀かつ丼 二〇〇円

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
肢体不自由者相談所
外科 整形外科
内科 小児科 呼吸器科
皮膚科 泌尿器科
理学診療科 レントゲン科
財団法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八一一番
分院棟 平市小太郎町十三番地 電話一四七四番

化塩質硬ビニール
エスロン樋
絶対いくさらない鋸で工作出来る
売販店 大谷建材店 平市紺屋町 電三六六

御定食 ¥50
寿し
中華そば
其の他
お家族お揃いで楽しくお食事の出来る店
大衆食堂 さかえ
平駅前 電八八九
業営間夜 速迅前出

美人になるには パン食を
パンは東京堂 電一一〇八・一五九九

内科 整形外科 性病科
外科 胃腸科 呼吸器科 小児科
産婦人科
精神科
レントゲン科
財団法人 磐城済世会
松村病院
院長 松村亨
電話 二二七〇・二二七一 二二七二・二二七三

八世帯全半焼
児童二名焼け死ぬ
昨夜、常磐の炭礦街

三十日午後九時ごろ常磐市磐崎上湯長谷字鳥館三十一支柱夫草野郡司さん方居間から出火、地元消防団をはじめ常磐炭砿など隣接消防自動車十数台がかけつけ必死の消火作業をつづけたが住宅が密集して水の便が悪かつたため長屋二棟四十坪八世帯を全半焼して同十時十分ようやくちん火した。このため逃げ遅れた児童二人が焼け死んだ。損害八十万円。

火事は火元の郡司さんが風呂へ行つて留守中の出来ごとで郡司さん次男広幸君(九つ)=長倉小三年生=と四女ミエ子さん=磐崎中学二年生=の二人はコタツに入つて寝ていたため逃げおくれ広幸君はその場に黒こげの焼死体となつて発見された。またミエ子さんはからだ中火ダルマとなつて逃げのび磐崎病院にかつぎこまれて応急手当を受けたがかいもむなしく今朝八時三十分息を引とつた。

二人とも母親を四年前になくして父の郡司さんに育てられていたが二人とも学校も休まず級友からも可愛いがられまじめな生徒だつたという。現場には鈴木校長をはじめ広幸君やミエ子さんの級友がかけつけていたが、変りはてた二人の姿にすすり泣く声が人目をひいた。原因は常磐署で調べているがコタツの不始末とみられる。罹災者氏名次の通り。

▽全焼=鉱員草野郡司、鉱員新山三郎、同佐藤秀男、同、荒川惠、同鎌田議一、同相田秋談▽半焼=鉱員野木モト、同門馬昇。

教員異動発令
新任校長 半沢(高四)高杉(小平三)菱沼(名中小一)

教員異動(石城地区)は次の通り(カツコ内は旧任)

校長の部

=高校の部=(転任)

須賀川 太田長夫(四倉)四倉 半沢富雄(富岡)

=中学校の部=(新任)

貝泊 大和田一美(豊間)差塩 新田彦治(大浦小)(転任)楢葉北 渡辺嘉一(田人)田人 渡辺伊介(貝泊)植田 鈴木兼(草野)草野 渡辺政樹(勿来二小)山田 根本名治(永井)小名浜一 菱沼儀(平三)平三 三森芳重(内郷二)内郷二 千葉正義(大野)大野 荒川栄(江名)江名 市川誓市(勿来三小)

小学校の部(退職)平三 新家芳美、湯本一 大和田祐之、同二 渡辺親之(新任)川内一 植松貞雄(石神中)高杉清寿(田村出張所)大文田 遠藤松三(泉)(転任)平六 小林正人(平六)湯本二 粟谷伸六郎(四倉)四倉 佐藤忠一(植田)植田 長谷川武男(平六)豊間 千葉正(藤原)藤原 雫石太郎(石住)勿来二 助川光夫(山田中)湯本三 若松郁哉(永崎)永崎 園部一巳(植田中)永井 佐藤まこと(鹿島中)鹿島 遠藤正三(差塩中)小名浜三 根本清秀(渡辺)渡辺 上遠野進午(小名浜三)湯本一 鈴木孝雄(小名浜一中)勿来三 渡辺武次(大野中)石住 山田市郎(土文田)高野 鈴木寛(内郷三中)川前 草野求(川前中)沢渡 伊藤末次(沢渡中)

小学校退職の部

▽石城 川上じゆん子(沢渡)志賀圭子(高坂)塙弘子(高坂)渡辺タケ子(同)和田二郎(内町)藤田タイ(湯本二)山本倫子(小名浜二)古沢タケ(小名浜一)鈴木岳(好間一)佐藤玲子(平一)佐々木朝子(湯本二)

小学校転任の部

下三坂	二坂中	金田成二郎
四倉	大浦	新妻一郎
大浦	四倉中	赤津徹
平二	平五	鈴木節枝
〃	草野	新家久子
〃	豊間	高橋郁雄
〃	草野中	新妻正
平三	平二中	酒井ちえ
〃	平五	服部栄子
〃	平一中	樋口武
〃	平六	佐藤美代子
平四	平二中	田仲輝郎
〃	赤井	鈴木千枝
平五	平三	長谷川友子
〃	平二	鈴木光子
平六	平三	藤田しげ
〃	赤井	久保田黍子
夏井	豊間中	猪狩アイ子
高久	平四	鈴木健介
草野	平二	鈴木千枝子
赤井	高久	佐藤ミヤ子
〃	平六	武川八重
宮	高坂	池田綾子
〃	内郷一中	市川英雄
湯本二	長倉	遠藤スミ子
〃	磐崎	服部節代
湯本一	湯本二中	渡辺武治
湯本三	〃	遊葉久子
長倉	藤原	高島義清
〃	湯本二中	伊藤智恵子
藤原	長倉	板野三郎
小名浜一	泉	高島妙子
〃	小名浜三	渡辺京子
〃	永崎	作山キワ子
小名浜二	小名浜三	広原美智子
〃	江名中	大平照朝
小名浜三	小名浜二	成田愛子
〃	小名浜一	永井久子
江名	小名浜二	根本健一
渡辺	江名	渡辺正雄
植田	勿来二	森光子
〃	錦	和知キミ子
〃	錦中	渡辺和枝
〃	川部	小野キエ子
錦	植田	橋本キイノ
〃	植田中	猪狩亮吉
〃	植田	安城ツヤ
〃	勿来一	小野恒夫
上山田	植田	関古孝照
勿来一	川部	岡部つる子
勿来二	植田	湖田富子
〃	錦	国安孝子
川部	勿来一	三瓶静枝
〃	勿来一中	星初子
四倉	四倉中	片寄正彦
泉	内郷二中	久保田義男
好間三	好間一	小林孝子
平三	高久	柴田久光
永崎	小名浜一	鈴木アサ子
好間一	好間三	斉藤弘子
好間四	好間一	大槻文子
勿来三	勿来一	舟生洋子
田人	〃	小野金次郎
〃	錦	秋山節夫
石住	入遠野	平子京子
上遠野	湯本二	小野重代
〃	山田	蛭田タカ子
〃	長倉	小野雅道
好間一	平一	草野光枝
〃	小玉	柴崎ふじ子
〃	綴	相川道子
〃	高坂	遠藤チヨミ
〃	草野	松本美奈子
〃	宮	上川ノブ子
好間三	内町	草野三雄
〃	草野	片寄清子
〃	赤井	鈴木美智子
〃	宮	柏原知加子
川前	赤井中	早川良知
小川	赤井	渡辺瑞子
〃	内町	八巻陽太郎
〃	川前	古山嘉子
小玉	赤井	鈴木時一
〃	長倉	柳内セツ子
〃	平一	市原健
四倉	平二	中野眷樹
〃	草野	宮崎勝則
大野一	〃	高木三郎
平一	小玉中	高木雅子
〃	永戸中	熊田アキ
〃	好間一	武田キイ子
〃	小玉	高橋孫士
〃	好間中	新妻ウメヨ
平二	四倉	小松真
平三	湯本二	岩並ミチ子
平四	川前	松崎一美
平五	下三坂	会田昌広
〃	山田中	樋口広
豊間	高野	橋本マサ
〃	永井	大谷和子
〃	永崎	佐々木環
上三坂	高坂	草野晃
草野	内町	山本桂子
〃	大野一	小堺典夫
〃	好間三	手塚習枝
〃	四倉	新妻俊夫
〃	好間一	白石晶子
赤井	小川	鈴木トキ子
〃	湯本二中	高木清志
〃	小玉	古市喜一
〃	宮	佐藤次男
高坂	上三坂	矢代誠二
〃	湯本二	浦山タツ子
〃	〃	太田リツ子

事務局

「新任」双葉所長 高木百枝(湯本三小)学校教育課主事 佐々木真(磐女)

中学校の部

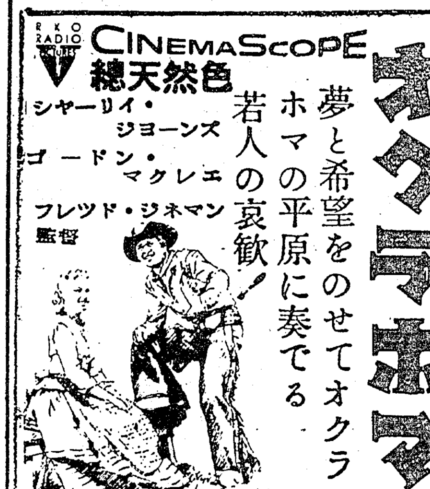
「退職」上遠野 小野安、入遠野 柳川孝道、沢渡 高橋久子、草野 小島ヨシイ、湯本二 鈴木滕子、泉 八代モト、勿来一 赤津甫子、平三 柴山治子、同二 阿部政雄「新任」西山郁子(錦)佐川粂夫(入遠野)武藤節子(湯本一)森川晶子(三阪)永井キクエ(湯本二)茶原洋子(勿来一)小野晴男(山田)

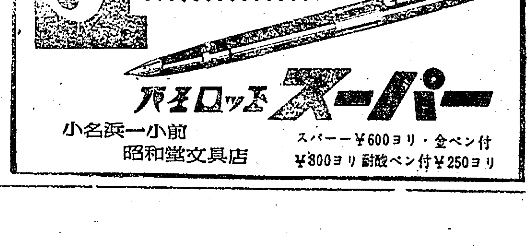
高校の部

▽退職教諭高木ユキ(磐女)吉田洋子(四倉)講師=永山宏之(磐城)鈴木章司(小名浜)八木東作(磐農)室原重幸(平工)日野良太郎(同)佐藤吟子(湯本)門馬禎(四倉)佐藤昌一郎(四倉)根本康子(勿来)柴崎一男(同)湯川尚春(四倉)赤津美佐子(内郷)臨時講師=塩崎ツヨ(小名浜)井上政子(同)小林良吉(勿来)川崎広元(内郷)「転任」花沢武郷(平商―内郷)高木嶽(平工―内郷)窪田信子(磐女―本宮)山本武雄(湯本―磐城)大平芳弘(平工―磐城)佐藤一(湯本―磐農)大越キヌ(内郷―磐農)神尾精英(磐女―平二)吉田信(内郷―平商)遠藤留太(内郷―平商)大内セイ(磐女―平商)桑原チヤウ(磐女―平商)山ノ井昭平(本宮―平工)岡本忠夫(小野―平工)比佐一(内郷―平工)賀川力(富商工―平工)山名隆之(磐女―平工)鈴木章夫(小名水―平工)横山茂(若商―小名浜)穴沢マキ子(小野―小名浜)渡部誠一(小名浜―磐女)田村育雄(湯本―磐女)早川宗國(磐城―磐女)日比黍子(平商―磐女)岡部ミキ(平商―磐女)永山チヨ(四倉―磐女)松本ヤオ子(四倉―磐女)神谷清水(平工―磐女)佐藤精一(平二―湯本)国分甕(磐女―湯本)宇田恒雄(磐城―四湯本)草野ヤイ子(磐女―四倉)白石永甫(平工―田島)山県重信(平第二―塙)高尾国郎(小名浜―安達)福地厳(磐農―安達)

明日のお天気

「今晩」南の風で晴れ時々曇りの天気。
「明日」南の風で晴れ、のち曇り
「海上」今晩は多少風波があり、明日もはじめ多少風波がありますが、のち風波がでてきましょう。





昭和33年3月31日　(月曜日) 第2378号　　常磐毎日新聞　　(新聞定価1カ月80円一部3円)　　(第三種郵便物認可)　(四)

綴方　小三平

お母さん

横山博子

私のお母さん朝はやくからさかな売りをしている。毎日、毎日、雨の日も雪がふつている時もかさをさして出かける。私は、うしろすがたを見るとなんだかなきたくなつてしまう。おばあさんも、さかな売りをしている。おとうさんは会社、おじいさんはときどきさかなつりをしてうつている。だから私たちはぜいたくなどしていられない。おかあさんは、わたしが、かぜをひくとねないでかんびようしてくれる。わがままをいうと、おしいれにいれてこらしめる。お金が少ししかはいらないのにクリスマスには、ケーキをかつてきてみんながおいしそうに食べているのに、おかあさんは、ケーキのはしつぺたを食べている。

わたしは「おかあさんをそんなに心配させるとびようきになる、すぐ死んでしまう」と考えて、あまりわがままをいわないことにしたわたしは「大きくなつたら、おかあさんにこうこうする」とちかつた。わたしのおかあさん、毎日、毎日ごくろうさん。

ぼくのほくろ

山崎泰由

この間、うらないの本を読んでいると、足みおじちゃんが来たので読んでもらいました。ほつぺたの所のほくろはよいのですが、はなの上の、まん中にあるのは、大へんわるいと書いてありました。ぼくのほくろは、ちようどはなのまん中にあるので、ひかんしましたぼくの手そうも見てもらつたら、しんけいしつだといわれました。それから今年のぼくの運せいの所を見てもらいましたら半分白半分黒でした。どうりで、今年になつてから、たびでも、手ぶくろでもかた方だけ、なくなります。定みおじちやんは全ぶ黒でしたので今年にはいると、すぐ耳がいたくなつたそうです。ぼくは、ぼくろが気になるので、だれもいない所でイボコロリを、つけてみましたがきめはありませんでした。それでお母さんに話してみますと、「困つたれ、でも悪い運せいのぼくろでも、それに負けないように体をじようぶにして、よくべんきようしたらよいでしよう」と言われました。ぼくはお母さんに言われたように、悪い運せいに負けないように、しつかりがんばつていこうと思います。

チロ

鈴木通弘

「チロ」は僕の家の犬である。チロは僕が学校から帰るのを待ち構えているかのように、学校から帰つてくる僕に耳を後にピンと立てて飛びかかる。僕はそんなチロに愛情を感じて「よしよし」と頭を撫でてやると嬉しそうにくんくん鼻をならし、僕の顔や鼻のあたりをいやという程なめまわす。

従つて雨の日は、僕にとつて一番いやな日となる。何故かというとあの何処を歩いたかわからない泥足で、飛びついてくるからである僕の服は泥だらけになる。そう思うといやになつてしまう。

チロに見つからないようにコツソリ帰つて行くがチロはそんなことは知らん顔。コソドロのようにそのはなは、しゆいろでりきまるのつと帰る僕の姿を見つけて飛びかかる。服はもうめちやくちや。

「ちえつ」と舌うちするが、もう後の祭だ。母は「しようがないわね」と小言は言うが畜生のことなのでどうもしようがない。でもチロはとてもりこうなところがある僕は時々馬鹿にして、チロチロこちそうだよと言つて密柑の皮をやると前の左脚で密柑の皮をひつくり返えして、鼻をすり寄せ、皮だと気がつくと見むきもしない。そして別なものをくれとせがむ。

この前僕は大きな箱の中でけんか相談をした。ぼくはかみつかれると大変と思つて得意の頭をかくしてチロと対戦。すきをみて、チロの鼻のあたまをポインとけつたら「うー」とうなり声をあげて飛びかかつて来た。僕はチロの恐ろしい体当り戦法にどつと倒れた。「今度はチロにかみつかれる番だ」

うちの犬

松村俊子

うちには犬が二ひきいます。もりおかららきた犬です。なまえは、かたほうは「かなめ」もう一ひきは「りきまる」です。かなめはおとなしくてわたしがいくと手をなめますが「りき」のほうは、わたしがいくと、げんきよくちんちんをします。二ひきの犬は、からだの毛がまつしろで耳の先は、ちよつとあかいです。それからかなめはなはくろいです。かなめのしつぽはあがつていますが、「りきまる」のはまるくなつてせなかについています。そしてしりつぽをふるときは「かなめ」のおは、大きくゆらゆらとおどりますがりきまるのはせなかをちいさくたべたとたべたときます。かおがほそながくてやさしそうなのはかなめで、はばがひろくてつよそうなのはりきまるです。かなめもりきまるも、おとうさんにきいたら「岩手マタギ犬」といつて、りようしがくまをとるときにつかう犬だそうです

通信教育で大学卒業

内郷

常磐市上浅貝常磐炭砿鹿島砿材料課安藤健一郎さん(三)は法政大学経済学部を通信教育優等生で卒業した安藤さんは健吾さんの長男で常磐炭砿に勤めるかたわら二十八年内郷高校夜間部を卒業、高校時には生徒会議長、ホームルーム委員長などしていた。

川柳

『足の裏』　大野辰巳選

(客) 雑巾が子の足裏を追つかける　松寿
(〃) ストリツパー足裏迄ものぞかせる　麦秋
(〃) 足裏裏に春の息吹きを知る土塊　修一
(〃) 海と山シーズンだけがさわがれる　大笑
(〃) 土の香へ牛もやつぱり春を呼び　松寿
(〃) のどかさを繰り返してる春の海　一宇
(地) 食ぢを背負いつづける足の裏　一宇
(天) 探してる画びよう見つけた足の裏　樽児

『連想・春の海日ねもすのたり〳〵哉』　江尻北向選

(客) 春の海のどかに魚船出する　信城
(〃) やがて来る客待ち顔の春の海　六七八
(〃) 海と山シーズンだけがさわがれる　大笑
(〃) 土の香へ牛もやつぱり春を呼び　松寿
(〃) のどかさを繰り返してる春の海　一宇
(人) ウエツトな和服姿が春を告げ　南月
(地) 太陽を日ねもす追つて楽隠居　泉哉
(天) ニコヨンに感傷のない春が来る　一宇

『連想・春の海日ねもすのたり〳〵哉』　井上恵世選

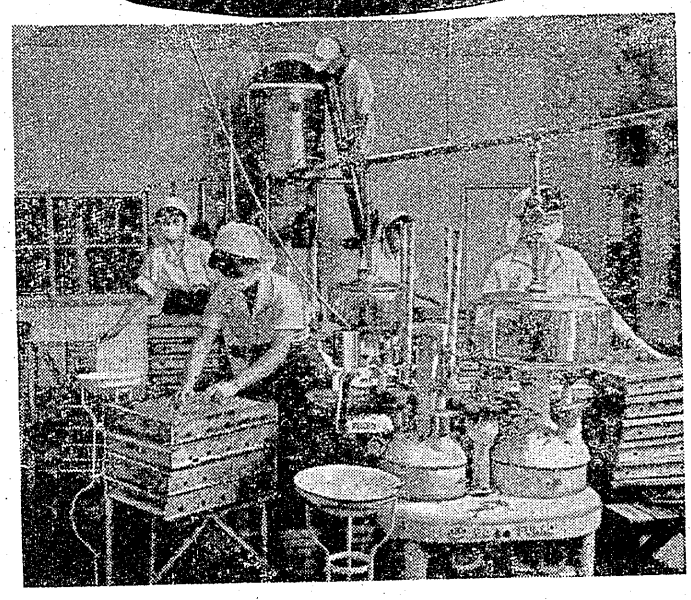
(人) 抵抗もせずにひねもす水車　六七八
(地) 春の海に色放つ貝拾う　香風
(天) 海に尾をひいて富士山ドル稼ぐ　弦月

アブクマの雲

三野混沌

いきることも　死ぬことも
また従つて何も働くこともない
み空を流れる　白い雲の
アブクマの雲　アブクマの水
ひとをおびやかす何のタネもない

美と健康をつくる
生菌　ヤクルト
培養責任者　医学博士　代田　稔



特許　183156号

毎日配達　一本6円

株式会社　ヤクルト常磐営業所
代表取締役　塩満一
平市松ガ岡公園裏　TEL　呼) 1413

酒

都々逸

〽気がねいらずの温泉宿で
つい呑みすごす夢心〃
(竹本喜美太夫寄稿)

東洋酒販株式会社
代表取締役社長　杉田松太郎
平市神宮宣町　TEL 1359・1907